

【高山村】  
校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

高山村では、校務支援システムを導入したことで、教員の働き方改革を推進してきました。

令和 2 年度の GIGA スクール構想により、1 人 1 台端末が導入されて以降、授業支援ソフト、学習 e ポータルなどを活用し、各種業務のデジタル化を進めてきました。

しかし、教育委員会と学校、保護者との間の連絡に関しては、一部のアプリ等を活用した配信が行われているものの、多くが紙媒体や電話連絡に依存しています。そのため、校務のデジタル化が十分に進んでいない課題があります。

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

クラウド環境を活用した校務 DX を積極的に推進し、教職員間や関係者間の情報共有を円滑にし、業務の効率化を図ります。

3. 次世代校務 DX 環境の整備について

第 2 期 GIGA スクール構想では、教育分野の ICT 環境を高度化し、校務においても教職員の事務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間をより多く確保できるよう取り組みます。これにより、持続可能な学習指導や生徒指導を実現し、質の高い教育活動を推進していきます。

また、FAX や押印廃止に向けた取り組みを進めるとともに、不必要な名簿情報の手入力を廃止することで、効率的で正確な校務支援を目指します。